



NISHIWAKI Lions Club News

50th Gold Anniversary

西脇ライオンズクラブ 国際協会335-D 地図3R-22

●会長テーマ 進化 —— Evolution

Vol.51 No.6 2012.12.18発行



莊嚴寺 持仙堂

1196回例会挨拶



会長 藤本昌宏

秋も深まりましたが、お元気で例会御出席、誠にありがとうございます。

「秋深き隣は何する人ぞ」松尾芭蕉。

秋の深まると、秋のもの寂しさを感じさせる俳句ですが、つくづく日本の四季の有り難さや風情を感じます。

関東より西の太平洋側では、紅葉の見頃を迎えています。紅葉は、朝の最低気温が摂氏8度以下になると始まり、一日およそ20kmの速さで南下するそうです。

古くから日本の庭園には真っ赤に紅葉する「カエデ」の木が好んで植えられています。ところで「もみじ」の違いを御存じでしょうか?盆栽や造園の世界では、葉が5つ以上に切れ込んでいるものを「もみじ」、切れ込みが3つのものを「カエデ」とよんでいるそうですが、実は、イロハモミジ・ヤマモミジ、すべて「カエデ属」で植物学上の分類ではモミジとカエデの区別はないそうです。

もともと「もみじ」という言葉は「秋になって紅葉・する」事を指す動詞「もみつ」からきていて、「モミジ」という植物があるわけではなく、赤く紅葉する「カエデ」を一般的に「もみじ」と呼ぶようになったようです。

さて、11月13日第一例会日に保険奉仕委員会によりライオンズ「三献運動」の一つである献血奉仕事業が開催され、献血受付数は目標の150人を越える169名という素晴らしい実績が残りました。保健奉仕委員会の皆様御苦労様でした。

ライオンズの献血アクティビティは、1965年に302W-4地区(山口・島根・広島)の年次大会が「献血運動・花いっぱい運動」をアクティビティのスローガンに採択したのが始まりです。

献血事業は全国のライオンズクラブが展開し、日本ライオンズの主要アクティビティとなっています。1989年7月には日本赤十字社が昭和天皇のご資金を基に献血推進賞を創設し、日本ライオンズ国際協会330~337複合地区が第1回受賞に輝いています。第2回献血アクティビティも予定されていますのでメンバーの皆様にはご協力をお願い申し上げます。

西脇LCアクティビティスローガン —— 伝統の重さを活力にL字の誇りを次世代に ——



本年度、地区内で周年行事を迎えるクラブは16クラブあります。そのうち50周年大会を迎えるクラブは7クラブ、3R内には3クラブあります。10月7日に小野LC、11月18日には三木LCも式典を終えられ、我がクラブが3Rでは最後の周年大会になります。

富良野LC含めて3クラブの50周年大会に出席させていただきましたことは、非常に勉強になりました。ホームクラブがその時を迎えるに当たり、メンバー全員が相互理解のもと、全員で50周年記念大会を成功させることが重要であります。

また、50周年を機に、一人でも多くの同士、お仲間を迎えたいと切実な思いと期待もございます。ライオンズクラブに御関心をお持ちの方がいらっしゃれば、例会見学など御案内いたしたいと思います。

世界ライオンズでは、ここ10年間、毎年20万人の新会員が誕生していますが、一方で、毎年19万人の退会者がいる事も事実です。考えてみたら、ここ10年間で失った会員数は、今の世界の全会員数より多い事になります。

西脇LC結成時の会員数59名を割ることのないよう50周年記念式典を迎える為、メンバー各位の会員増強にご協力をお願い申し上げ、会長挨拶とさせていただきます。

1197回例会挨拶

今年も、いよいよ残すところ26日になり、正に師走に成りましたが、本日もお元気で例会御出席ありがとうございます。

本例会では、黒田庄の荘巣寺の住職堀井隆海様をお迎えいたします。

2014年に大河ドラマ実現となりました黒田官兵衛のゆかりの地などのお話を聞ける事を楽しみにしております。

短い時間ですが、皆様、宜しくお願ひ致します。

さて、米国はいま「ブラック・フライデー」とよばれるクリスマス・歳末商戦の真っ最中に入ります。「ブラック」は「暗黒」ではなく、一年で最も売れるという「黒字」の意味です。

日本も歳末商戦の本番を迎えましたが、スーパーや百貨店の売り上高は、一部を除き前年割れが続いています。一方、ユニクロなど最新の流行を安く提供する「ファスト・ファッショント」が好調です。不安定な雇用や消費者の節約志向が強まり、比較的安いものが売れているようです。

各企業は価格競争にしのぎを削る節約やコスト削減は個人や企業にとって合理的な行動のように思います。

社会全体では、マイナスに作用し、「デフレ不況」を招くように思います。いわゆる「合成の誤謬」であります。

三銃士の有名な言葉に「一人は皆の為に・皆は一人の為に」と三銃士の精神にヒントがあると思います。自分さえ良ければ、自分さえ勝てばと、いう発想は結局つぶし合うだけになると思います。

大阪百貨店戦争は、30年間の最終局面への年に入り、JR大阪駅と阪急電鉄梅田駅は隣接している為に、しのぎを削る中、そこに真打ちとも言える阪急百貨店が新装開店し阪急梅田本店は圧勝し、低調のJR大阪三越伊勢丹は、さらに窮地に陥るのではと多くの業会関係者は予測されています。

さて、2012年12月23日に全国高等学校駅伝競走大会が開催されます。西脇工業高校は、全国大会最多優勝となるV9を目指しています。昨年西脇工業高校陸上部監督足立幸永様が昨年この時期に例会でスピーチの中で、「負ける事によって学ぶ事」の多さだと。そして「集中力」「判断力」「決断力」の3つが求められるとお話が有りました。

写真で振り返る50周年

クリスマス家族会 委員会対抗演芸大会



▲クリスマスパーティーの委員会合唱

クリスマス
家族会





東日本大震災の災害ボランティアに行って～西脇工業高校～

11月22日～25日の間、西脇工業高校を代表して41名で東日本大震災の災害ボランティアに行ってきました。一日目は宮城県の東松島市にある県立東松島高校生徒会と鷹木の森運動公園仮設住宅の皆さんと交流会を持ち、二日目は南三陸町で流出した家屋の基礎部分に溜まった土砂を取る作業をしました。仮設での交流会ではプランター作りと各科が持参した作品を手渡し、喜んでもらいました。又ゲームを通して仮設の子供達が私達に肩車するほど程の親しさを見せ、別れる時は名残惜しそうに手を振っていました。東松島高校では生徒会同士の交流を深め、震災時の生き残り話を聞いたり、播州弁と東北弁の違いを楽しんだり、又仙台名物ずんだ餅を作りながら和気藹々の交流会となりました。南三陸町は未だ津波による傷跡が生きしく残り、復興にはまだまだ時間がかかる情景でした。語り部の傾聴では「縄文からの教えがあったのに歴史に学ばなかった」「訓練は訓練のための訓練だった」「津波は人の命まで持ち去ったが、我々の“絆”までは持つては行けなかった」など等、これから希望を持って生きていこうという内容で、聞いている私たちも勇気付けられるものでした。土砂を取り除く作業は人手でないと出来ない根気の要るもので、いくらでもボランティアを必要としています。私達はこのボランティアを経験することにより、自分が如何に恵まれた環境に居るかを気付かされ、又元気を届けようとした私達が逆に元気を貰うという体験となりました。皆さんも機会があれば是非東北に応援に行ってください。



「爽やかな汗」で交流を深める～西脇子午線マラソン大会成功裏に終える～ 大会長 L丸山 隆義



「爽やかな汗」で交流を深める～西脇子午線マラソン大会成功裏に終える～

去る12月9日、日本のへそ公園を中心会場に第35回日本のへそ～西脇子午線マラソン大会～が開催された。北は北海道、南は愛媛県、東は千葉県、西は山口県、全国24都道府県から、2,595名という多数のエントリーがあった。年齢も小学一年生から87歳までの幅広い老若男女で、競技者として記録更新をねらう人から走る楽しみを味わおうとする人、健康体力づくり、あるいは親子のふれあい絆づくりを目指す人などそれぞれの思いを胸にした元気溌剌の参加者であった。

比延小学校5、6年児童の鼓笛隊によるドリル演奏・ファンファーレで開会式を始め、引き続き1部から24部まで順次競技を行った。この冬一番の冷え込みではあったが、絶好のマラソン日和に恵まれ、各ランナーはそれぞれに爽やかな汗を流した。

沿道で応援する人、それに応えるランナー、走り終えて健闘を讃え合ったり家族や仲間の祝福を受けるランナー、バザー会場ほかあちこちで話の花を咲かせている人垣、へそ公園周辺は終日寒さを吹き飛ばす活気と交流に溢れていた。

地元比延地区をはじめ各自治会関係者、消防団、医師会、わがライオンズクラブなどの各種団体、中高生等々本当に多くの方々の協力があっての大会成功であり、わがまち西脇がアップル出来た事を共に喜び合いたいと思う。



新入会員挨拶

L藤原 洋志



この度、伝統ある西脇ライオンズクラブに入会させて頂きます藤原です、宜しくお願い致します。
まずは、私のような者にお声掛けを頂きそして、入会のご承認を頂けました事にお礼申しあげます。
今までライオンズクラブの活動等は時折見聞きしておりますが、地元の奉仕団体との認識しかありませんでした。

それが、新会員予定者説明会にて説明を受け、その歴史・規模等に驚き、例会に出席させて頂くとメンバーの方々の年齢・職種を超えた和気藹々とした雰囲気を感じ、また、委員会・事業等に真摯に取り組まれるお姿を拝見させて頂き、認識を新たにすると共に、西脇ライオンズクラブに入会させて頂けて良かったと実感しております。

これから色々と勉強させて頂き、諸先輩方のお役に立てますようにそして、「We Serve」の精神で入・地域に貢献できればと考えております。ご迷惑おかけする事多々あろうかと思いますが、御指導の程宜しくお願ひ申し上げます。



We Serve

ゲストスピーチ

黒田官兵衛は黒田庄町黒田村出自説の根拠!

系図の違い

●当山系図・・・書かれたのは文化6年巳年(1809年?)

赤松円光 —— (初代城主)重光 —— (二代目)重勝 —— (三代目)重康
 —— (四代目)光勝 —— (五代目)重貞 —— (六代目)重昭 —— (七代目)重範
 —— (八代目)重隆 —— (九代目)治隆
 —— 孝隆(官兵衛)



高野山真言宗莊林山莊嚴寺
住職 堀井 隆海様

●筑前系図・・・近江の佐々木流黒田氏が官兵衛の先祖とする説

佐々木秀義 —— [四代] —— 黒田宗清 —— 高満 —— 宗信 —— 高教 —— 高宗
 —— 高政 —— 重隆 —— 職隆 —— 孝高(官兵衛)

※この系図の元は「江源武鑑」(近江佐々木流六角氏関係の歴史書)や「寛永諸家系図伝」(堀杏庵という尾張徳川家の儒官が記した系図)を元にしている。当時の近江の学者・寒川辰清が信用できないと批判していたが、再度、貝原益軒が復活させたもの。近江の関係者のフィクションが含まれているといわれている。

当山の記述と姫路の古史の記事が一致する姫路の古文書にも「官兵衛は多可郡黒田村の産なり」とある

姫路の「心光寺旧記」や「国府寺家旧記」にもはっきりと「多可郡黒田村の産なり」とある。心光寺は小寺家菩提寺として御着にあった寺院で、池田輝政の時代に姫路坂田町へ移転(今の姫路の保健所当たりにあった寺院)、今は姫路市北平野台町にある。国府寺家は今のヤマトヤシキ当たりにあった旧家で、先祖が官兵衛の本性「黒田」の名字をもらっていた。これらの旧記は「播磨古事」という古文書に記されていたもので、嘗ての黒田藩の家来の井手家に伝わっていた書物である。平成18年に井手家から福岡市博物館へ寄贈されたもの。「官兵衛は小寺職隆の猶子(養子)となる。」との記述もある。また、「播磨古事」(宝暦12年-1762)にも「黒田官兵衛多可郡黒田村ノ産ト云」とあり、昔から「播磨の黒田出自説」はあったが、裏付ける資料が乏しかった。

※筑前系図にある「重隆 —— 職隆 —— 孝高(官兵衛)」の部分は、貝原益軒の記した「黒田家譜」や「黒田系譜」によるもので、元は「江源武鑑」の中で捏造されたもの。

の。また、重隆の父とされる高政は「江源武鑑」の説を引用していて、重隆は備前の生まれとなっている。司馬遼太郎の「播磨灘物語」などの影響もあり、貝原益軒の説が通説となっていた。

何故赤松家の流れの人物が黒田城主となったのか?

黒田庄は播磨国と丹波国の国境の地で、加古川から円山川を経由する物流の要衝の地であった。黒田城の本郭があった天狗山からは、北の丹波国を広範囲に見渡せる。当時の物流の主役は船で、日本海側への運搬は黒田庄を通らなければ行けなかった。この時代は年貢による収益より物流の要衝を押さえての収益を重要視していた。

初代城主が着任した觀応二年(1351年)3月は、足利尊氏(北朝方)が弟の足利直義に謀反を起され光明寺合戦をしている最中となる。



本堂



1711年創建 多宝塔

ホームページ隨時更新中!

西脇ライオンズクラブ

クラブニュースに載せきれない記事や写真が満載!

西脇ライオンズクラブ 「広げよう奉仕の輪を、高めよう奉仕の心を」
メンバーの紹介

宮崎 春貴

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇932
 電話 (0795) 22-2168
 FAX (0795) 22-2312

有限会社 橋本織布工場

代表取締役 橋本逸夫
 〒677-0001 兵庫県西脇市大木町76番地
 TEL (0795) 22-4768
 TEL (0795) 22-5935
 FAX (0795) 22-4868

丸田 タミヤ商事株式会社

代表取締役 長井秀夫

〒677-0054 兵庫県西脇市野村町1038
 電話西脇 (0795) 22-2145代
 F A X (0795) 22-5775番

充実した保育施設

社会福祉法人 どれみ保育園
理事長 中辻 康司

TEL 0795-22-5740
 FAX 0795-22-1763

編集人 ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 3R2Z
 西脇ライオンズクラブPR情報委員会

編集担当 矢野耕司・来住慎之・在田一雄・宇仁菅和之・折戸 隆・徳岡武義・田中 功

事務局 〒677-0015 兵庫県西脇市西脇990 西脇商工会議所内
 TEL 0795-25-0711 FAX 0795-22-8739
 E-mail:n-lions@io.ocn.ne.jp
 URL http://nishiawaki.lions-c.net